



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第20号  
2005.7.28  
高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつかっています。

## もくじ

### お知らせ

- カワシンジュガイの展示，中国新聞（紙面）で紹介
- 八幡湿原再生協議会が開催

### 読者サロン

- テーマトーク  
「野外でオススメの一品」

### 観察会案内

- 昆虫の観察会
- 湿原の植物観察会
- オオサンショウウオの観察会
- 小鳥の巣箱づくり

### 花だより

- ツリフネソウ
- マアザミ
- ノカンゾウ

## お知らせ

**カワシンジュガイの展示が中国新聞（紙面）で紹介されました** (2005.7.23)

高原の自然館の「カワシンジュガイとアブラボテの展示」が中国新聞で紹介されました。ぜひ、希少な貝を見に来てください。

**八幡湿原再生協議会が開催されます** (2005.7.30)

「八幡湿原再生事業」における検討協議会が7月30日13:00より、芸北文化ホールにて開催されます。近藤会長，中越信和さん，上手新一さん，前垣寿男さん，和田秀次さん，茂田幸嗣さんとしらかわが委員として，野村吉春さんがアドバイザーとして出席します。一般の方も傍聴できます。興味のある方はご出席ください。

## 読者サロン

このコーナーではみなさんから頂いたお便りをご紹介します。

### テーマトーク

今回のテーマは、『野外でオススメの一品』です。それでは、コメントを紹介します。

#### 『野外でオススメの一品』

さくまともこさん  
2mmのロープ。まず、テントで寝るときにこのロープを天井に張るととっても便利です。ヘッドライトを吊るすと作業しやすいし、眼鏡や携帯などのなくなりやすいものを引っ掛けても○。濡れた手ぬぐいを掛けておけば、朝にはすっかり乾いて◎。山を歩いていて、もしも登山靴の底がはずれても、これでくれば取りあえず大丈夫。山スキーのシールがはずれても、これでくれば... 温泉に行った日は車の中にロープを張って、タオルを乾かすこともできるんですよ。まだまだ役に立ちそうなこのロープ。使い道を考えるのがまた一つの楽しみです。

#### 『野外でオススメの小ネタたち』

nokkoさん  
【ジップロック】カメラなど小物がぬれない  
【シュラフカバー】なかなか買わないけどあると便利。夏場はこれ一つで寝られる  
【新聞紙】食器洗う前に使えるし、何にでも使える。ゴウグルの曇り止めにも  
【牛乳パック】まな板に

高原の自然館三人娘のオススメは...

#### 『「こんにちは！」のあいさつ』

山で出会った時の挨拶は気持ちいいですね。(柳崎)

#### 『折りたたみの椅子』

車に積んでおけば、木陰を見つけてどこでも涼しく過ごせます。(藤原)

#### 『麦わらぼうし』

野外でオススメのもの、それは「麦わらぼうし」です。つばが広くって日差しも遮るし、なんといっても涼しいからGOOD(^^)v プラス首の日除けには「手ぬぐい」を！完璧な組み合わせです。(河野)

それでは、今月もテーマを。

今月は、『オススメホームページ』です。

ホームページって、わりと簡単にできちゃうんですよ。個人の方が運営されているページには「キラリ」と光るページがたくさんあるように思います。そんなわけで、今回のテーマはあなたの『オススメホームページ』を教えてください。ジャンルは自然に限りませんし、自薦・他薦も問いません。また、お一人でいくつ送って頂いても構いません。この際ですからご自分のページを「ドーン」とアピールしてみませんか？ホームページのアドレスと、できればオススメの理由を一言添えていただくとありがたいです。

ちなみに僕の『オススメホームページ』は... もちろんココです：)

<http://shizenkan.info/>

### フリートーク

その他のお便りを紹介します。

#### 『金色の野』

silvicolaさん  
先日、自然館の裏の千町原の見渡せる丘に上がりました。金色になったハルガヤの穂が風に揺れていました。秋にはススキの原で美しい千町原ですが、金色のハルガヤの野もきれいでした。かわいい雄しべと雌しべに感激したハルガヤ。こんなに金色になるのかとハルガヤの新しい一面に感激したのでした。

ハルガヤは千町原に群生する植物です。一面の穂が揺れるころは、確かに「金色の野」という表現がふさわしいほどですね。

## 読者サロン

『藍のマント』

藤井壯次 さん

君がいるということ

君が残雪を分けて  
ユキヤナギの小枝を振り  
薄羽蜉蝣のマントをなびかせ  
苧尾の山のなだらかな稜線を駆けおける時  
ヤマナシの幹は直立してローズ・グレーの  
実を落とし  
実は溪谷のササユリに触れて遠のく

どこからも見えない水草の沼  
君は何処も振り向かず  
マントをサギソウの羽に凝し  
告げる言葉を羽音に記して翔ぶ

そこに「藍」がいるということ

(詩集「藍の葉音」より)

ご自身の出版された詩集の中から、作品の紹介だそうです。同じ景色を見ても、記憶への残り方は人それぞれですね。

このコーナーでは、皆さまのお便りをお待ちしております。西中国山地の自然賛やコラム、イベント情報をはじめ、苧尾電波塔の感想やご意見など何でも結構です。お葉書、fax、メールなどで気軽に御寄稿ください。

## 観察会案内

### 昆虫の観察会

開催日時：2005年7月30日(土) 18:30

集合場所：高原の自然館

講師：清水健一

準備：長袖のシャツ、帽子、ルーペ、図鑑、メモ、おやつ等

定員数：30名

参加料：300円

(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

明かりを灯した布に寄ってくる虫を観察します。いつものように歩きまわる観察会ではなく、のんびりと待ちかまえての観察です。夜の虫たちの生態を覗いてみませんか？

### 湿原の植物観察会

開催日時：2005年7月31日(日) 9:30

集合場所：高原の自然館

講師：佐久間智子・白川勝信

準備：山を歩ける服装、弁当、雨具、ルーペ、図鑑、メモ、おやつ等

定員数：30名

参加料：300円

(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

八幡を代表する植生の一つが湿原です。気温が最も高くなるこの時期、湿原でも様々な植物が花を付けます。今回は、例年よりも3週間ほどずらしての開催です。さて、どんな違いが見られるのでしょうか？

### ※ 民宿について

今月は2つの観察会が連続で行われます。宿泊を希望される方はご連絡ください。

## 観 察 会 案 内

### オオサンショウウオの観察会

開催日時：2005年8月7日（日）13：00  
集合場所：壬生小学校のやや上流（北）にある  
大かん堰（千代田ICから車で5分）  
<http://www.mapion.co.jp/here/all/050727/mapi3102370050727105331.html>  
講師：内藤順一  
準備：弁当、雨具、メモ、おやつ等  
水中めがねと水着があれば、潜って観察することができます  
定員数：30名  
参加料：300円  
（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

国の特別天然記念物、オオサンショウウオを観察します。当日は、文部科学省の許可を得て、オオサンショウウオが何を食べているのかを調べます。水中めがねと水着を準備すれば、実際に川に潜って観察できますよ。特に子どもさんにオススメです。

### 小鳥の巣箱づくり

開催日時：2005年8月21日（日）9：30  
集合場所：八幡高原センター  
講師：暮町昌保  
準備：作業のできる服装、弁当、メモ、おやつ等  
定員数：30名（8月15日までに申込んでください）  
参加料：300円  
（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）  
材料費：1つの巣箱あたり300円  
（申込み時に作りたい個数をお知らせください）

野外で野鳥を観察するのは困難なことです。が、小鳥が入る巣箱を掛けると観察しやすくなります。今回は、比較的よく巣箱を利用するシジュウカラやヤマガラなどの小鳥の巣箱を作ります。1枚の板を切り出して作るの子どもさんにも簡単に作れます。夏休みの自由工作にいかがですか？

「バケツをひっくり返したような」梅雨が明けて、八幡にも暑い夏がやってきました。木陰に入ると涼しいのですが、空気の留まる自然館の中はちょっと蒸し暑いです。ただ、川の水は冷たく、10分も潜っているとガタガタと体中がふるえるほどでした。アマゴやカワシンジュガイなど、氷河期の生き残り生物が息できる環境を体で実感できました。この暑さも今だけのもの。短い夏をしっかりと楽しみましょうね！

## 花 だ よ り

### ツリフネソウ

少し湿った林床などに見られます。特徴的な花の姿は、花の奥にある蜜を吸うために訪れた昆虫に効率的に花粉の輸送をしてもらうために進化した結果です。

### マアザミ

八幡湿原を代表する花です。湿原に咲くアザミで、うつむいて咲く姿が特徴的です。花の姿から「キセルアザミ」の別名もあります。花が終わった後には、直立して実が熟します。

### ノカンゾウ

草刈りがされている田の畦で普通に見ることができます。暑い夏にもすっきりと咲く、オレンジ色のきれいな花です。

#### — インターネット版のご紹介 —

苅尾電波塔はe-mailでも発行されています。また、高原の自然館ホームページからはpdfファイルをダウンロードできます。インターネットを利用すれば、関連ホームページにジャンプしたり、写真をカラーで見られたりと、便利です。

高原の自然館では、紙資源の節約と事務処理の軽減のため、インターネットの利用をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
（ご意見・ご感想もお待ちしております）

#### 高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1  
tel. & fax : 0826-36-2008  
<http://shizenkan.info/>  
[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)